

笑顔とがんばりのまち

おのまもち

議会だより

第一回定例会

- ◇平成21年度予算
一般会計38億6,300万円などを可決
- ◇6人の議員から一般質問

第一回臨時会

- ◇町長等の給与の特例に関する条例などを可決
- ◇人権擁護委員候補者に佐藤信之氏



大きなおいもができるといいな。

5月2日 東京都中野区の中学生が農業体験に訪れました。
(湯沢体験農場)

第1回定例会

2月19日～27日

平成21年度第1回定例会は、2月19日から27日まで開かれました。会議では平成20年度小野町一般会計補正予算・平成21年度小野町一般会計予算、条例の制定・改廃案件など26議案を原案のとおり決定しました。

一般質問は6名の議員が行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



予算審査特別委員会による現地調査

平成21年度一般会計予算は38億6,300万円

会期中、予算審査特別委員会が設置され、平成20年度各会計補正予算及び平成21年度当初予算が審査されました。

平成21年度当初予算

単位:千円

区分	当初予算額	予算の主な内容
一般会計	3,863,000	平成21年度各種事業執行に要する経費 詳しくは「広報おのまち」4月号をご覧ください。
特別会計	国民健康保険	1,251,811 国民健康保険加入者の医療給付費など
	老人保健	1,530 老人医療給付費等の過年度清算金
	後期高齢者医療	105,707 福島県後期高齢者医療広域連合へ納付する保険料など
	介護保険	905,098 要支援、要介護認定者等に対する介護サービス、支援サービス費用など
	介護保険サービス事業	2,322 介護予防サービス利用者の介護予防計画策定費用など
	文化・体育振興基金	3,697 文化・体育振興事業実施のための費用
水道事業会計	収益的収入	160,726 水道使用料収入、一般会計補助金など
	収益的支出	160,726 浄水施設維持管理、固定資産減価償却費など
	資本的収入	206,016 国庫補助金、企業債など
	資本的支出	278,000 石綿セメント管更新事業、企業債償還など

一般会計予算の主なもの

歳入			歳出		
地方交付税	1億2,000万円	44.5%	民生費	8億8,386万9千円	22.9%
町税	9億8,596万4千円	25.5%	教育費	7億1,267万1千円	18.4%
町債	3億3,590万円	8.7%	衛生費	5億3,148万7千円	13.8%
県支出金	1億7,156万5千円	4.5%	公債費	5億2,242万円	13.5%
国庫支出金	1億5,148万3千円	3.9%	総務費	5億6万9千円	12.9%
地方消費税交付金	9,600万円	2.5%	消防費	2億6,040万3千円	6.7%
地方譲与税	8,400万1千円	2.2%	土木費	1億8,094万7千円	4.7%
使用料及び手数料	6,744万8千円	1.8%	農林水産業費	1億1,450万3千円	3.0%
財産収入	5,915万5千円	1.5%	議会費	8,710万4千円	2.3%
繰入金	5,100万5千円	1.3%	商工費	2,936万3千円	0.8%
利子割交付金、株式等譲渡所得割交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、分担金及び負担金、寄付金、繰越金、諸収入	1億4,047万9千円	3.6%	労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費	4,016万4千円	1.0%

条例

資産税に限り、第一期の納期限を一ヶ月遅らせるもので、平成二十一年四月一日から施行するものです。

◇小野町介護保険臨時特例基金条例について

平成二十一年四月施行の、介護従事者の処遇改善を目的とする介護報酬改定に伴う介護保険料の急激な上昇を抑制するための条例であり、公布の日から施行し、第四期介護保険事業計画が終了する平成二十四年三月三十一日限り失効させるものです。

◇議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

地方自治法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、全員協議会等の活動が正規の議員活動として明確に位置付けられたことから、議会全員協議会への出席を費用弁償の対象とするもので、平成二十一年四月一日から施行するものです。

◇小野町税条例の一部を改正する条例について

固定資産税の評価替えに伴い平成二十一年分の固定

◇小野町介護保険条例の一部を改正する条例について

平成二十一年度から平成二十三年度までの第一号被保険者の保険料を改定するもので、平成二十一年四月一日から施行するものです。

◇小野町公営住宅管理条例の一部を改正する条例について

公営住宅に入居しようとする者、又は同居しようとする親族が、暴力団員による不正な行為の防止等に関する法律に規定する暴力団員である場合に、その入居を制限するほか、入居に際し必要な「保証人」を、連帯保証人に改め、担保力を確保する内容であり、平成二十一年四月一日から施行するものです。

◇小野町町営住宅等条例の一部を改正する条例について

◇小野町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例について
公営住宅に入居しようとする者、又は同居しようとする親族が暴力団員である場合にその入居を制限をするほか、入居に際し必要な「保証人」を、連帯保証人に改める内容で、平成二十一年四月一日から施行するものです。

◇小野町在宅介護支援センター設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
老人福祉法に基づく在宅介護支援センターが地域住民へ提供してきたサービスを、介護保険法で設置する地域包括支援センターで代替提供することから、同施設の設置根拠である条例を、平成二十一年三月三十一日をもって廃止するものです。

平成20年度2月補正予算

一般会計、特別会計等は、いずれも原案のとおり可決しました。補正予算の主な内容は、次のとおりです。 単位:千円

区分	補正額	予算総額	予算の主な内容	
一般会計	381,876	4,413,840	歳入において、地域活性化・生活対策交付金、定額給付金給付事業国庫補助金等を計上し、歳出において、地域活性化・生活対策臨時交付金事業、定額給付金支給事業、公立小野町地方総合病院組合に対する負担金等を計上したほか、決算を踏まえた調整補正を行うものです。	
特別会計	国民健康保険	3,777	1,319,887	歳入において、療養給付費交付金等を増額し、一般会計繰入金の減額を行い、歳出において一般管理費、保健活動費、予備費等の減額を行うものです。
	老人保健	300	145,485	歳入において、医療費交付金、医療費国庫負担金の減額を行い、歳出において、医療給付費の減額を行うものです。
	後期高齢者医療	607	95,581	歳入において、一般会計繰入金、検診事務受託事業収入の減額を行い、歳出において保健事業費の減額を行うものです。
	介護保険	13,822	859,531	歳入において、国庫負担金、国庫補助金、一般会計繰入金等の増額を行い、歳出において、保険給付費の増額を行うものです。
	介護保険サービス事業	1,070	2,728	歳入において、介護給付費収入の増額を行い、歳出において、介護保険特別会計繰出金の増額を行うものです。
	文化・体育振興基金	109	3,540	歳入において、財産運用収入の増額を行い、歳出において予備費の増額を行うものです。
水道事業会計	収益的収入	9,097	161,566	収入において、水道使用料等の収入額の減額を行い、支出において、費用確定見込みによる減額を行うものです。
	収益的支出	3,047	167,482	
	資本的収入	2,870	158,081	収入において、地域活性化・生活対策臨時交付金事業による一般会計からの補助金の増額を行い、支出において、石綿セメント管更新事業に係る設計費用の増額を行ったほか、収支調整を行うものです。
	資本的支出	2,213	219,013	

報告

◆専決処分の報告

公立岩瀬病院組合が平成二十一年四月一日から地方公営企業法の全部を適用させ、その名称を公立岩瀬病院企業団に変更し、会津若松地方水道用供給企業団が本年三月三十一日をもって解散し、会津若松地方広域市町村圏整備組合に事務を継承させるため、福島県総合事務組合を組織する団体の減少、名称変更及びそれに伴う規約の変更について、地方自治法第百八十条に基づき専決処分されことから、同法により議会に報告されたものです。

その他

◆公の施設の指定管理者の指定について

小野町老人デイサービスセンターは、平成十八年四月より小野町社会福祉協議会を指定管理者として管理してききましたが、平成二十一年三月三十一日をもって指定の期間が満了することから、

引き続き同協議会を指定管理者として指定するものです。

◆田村地方視聴覚教育協議会の廃止について

田村地方視聴覚教育協議会は、昭和四十四年に田村郡内七町村により、視聴覚機材の共同利用を目的として設立されましたが、所期の目的を達成したことから解散することになったため議会の議決を求めたものです。

議会を傍聴しましょう。



傍聴手続きは簡単…
住所・氏名を記入するだけ。

お問い合わせは事務局まで **72-6930**

一般質問

一般質問とは、町の事務全般にわたる執行状況や将来に対する方針等について、町執行部の考えをたずねるものです。質問・答弁の内容は要約してあります。

第1回定例会の一般質問は、鈴木忠幸、石戸浩、吉田鐵雄、遠藤英信、國分喜正、水野正広の6議員が町政全般にわたり質問を行いました。

●小野中学校改築整備事業について

●小野中学校整備に関する予算について



鈴木忠幸 議員

検討する考えを持っているかどうか、又改めてそれらを町民の方々に周知する考えがあるかどうか伺います。

問 はじめに、施設のアイデンティティ（*1）について伺います。

今般の小野中学校の改築整備事業の方針は大変分かりにくいと感じます。例えば、「生きる力」という言葉がありますが、どの程度の方が理解できるでしょうか。町民一人ひとりが理念、目標を共有することによって、はじめてその施設の価値が生まれてくると考えます。より簡明な言葉で目標を町民に発信する必要がありますのではないのでしょうか。

そこで、今回策定した小野中学校の改築整備事業の理念、方針、目標などを町長は再度

町長

小野中学校改築整備の理念ですが、これは教育委員会の小野町教育環境の基本方針における、健全な社会を構築する心豊か度たくましく生きる力を持つ人間を育む教育」との基本理念を受けて、今般の改築にあたり、安全で安心できる学校づくりはもちろんのこと、確かな学力、心豊かな人間性、たくましく生きる力を育むことを第一義的な目標としていきます。

学校建設に対しては、様々な意見・要望があると思いますが、

これからもそれらをよく聞くとともに、町の考えを発信し、そして、よりよいすばらしい学校建設に取り組みたいと思います。

問

小野中学校の施設整備の基本方針では、安心できる学校づくりはもちろんのこと、確かな学力、心豊かな人間性、たくましく生きる力を育むことを第一義的な目標とするとありますが、これが分かりにくいのではないかと感じます。もっと簡潔に、小野中学校の特色は何なのかということから議論を積み重ねてい



▲新しい小野中学校のイメージ(模型)

かないと、なかなか町民の方々の理解が得られない、要するに、町民の方々は単に中学校が新しくなるだけでなくか理解できないのではないかと心配しているのです。

「小野中学校とはこれだ」という特色を、皆で研究していく必要があるのではないのでしょうか。再度町長の考えを伺います。

町長

鈴木議員の考えも、教育委員会での第一義的な目標も、どちらも大変重要だと考えます。

ですので、実際の学校建設に対しては第一義的な目標の実現のため様々な意見を集めながら検討をし、町民の方々に情報を発信していきたいと考えています。

問

常々教育長が言っている、教育とは、国と県と市町村が一体となって行うもので、中央教育審議会の答申がそのまま教育目標になる」とのことは理解できます。

また、日頃から町長は、小野町の児童生徒の学力を県下一にできるよう育てるとお話ししています。ですので、中学校の整備理念に、学力

県下一」ということが当然登場してもよいのではないかと考えます。今回、なぜこの理念が反映されていないのか伺います。

町長

常日頃から私は小野町の児童生徒を、学力においても、運動スポーツにおいても、県内トップレベルにしたい、そのような意識に基づき教育を受けさせ成長させたい。それを理想とする旨を話しています。今回の小野中学校の整備基本構想においても同様の考えを持っていきます。

今回は、耐震対策を含む安全・安心の観点と小野中学校の教育理念等に沿って小野中学校の改築整備を進めていきますが、整備方針が施設整備としてのハード面を意識した内容が中心となっており、このような施設整備事業の性格上のものと理解しております。

私は、児童生徒の教育を考えたとき、校舎の改築など教育環境整備の果たす役割も大きいことから、その充実に積極的に取り組む考えですが、当然、その前提や教育の根幹としては、教育委員会の方針やそれに基づく各学校現場での取り組み、家庭学

習も含めた地域全体の取り組みなど、複合的な教育施策の展開により、学力向上をはじめとする教育の充実につながるものと思います。教育委員会も同様の考えと想っています。

問

整備基本方針において、新しい学校は、次世代型の学習空間、少人数・チームティーチングに対応する施設、特別支援教育に応じた施設として整備することですが、これらはどのような施設なのか説明をお願いします。

教育長

次世代型学習空間の在り方については、ノーマライゼーション(※2)、安全管理、情報教育の推進など、幅広い視点から、将来的な教育環境の変化への対応を見据えた学校づくりを総称した意味です。少人数授業やチームティーチングに対応できる施設づくりについては、複数教員による協力的教授組織による学習や、習熟度別学習指導、調べ学習、グ



▲現在の小野中学校

続き議員各位の意見をいただき、改築計画に反映させ、よりよい教育環境の整備に取り組みしていきたいと考えております。

問

平成二十一年度当初予算での学校改築整備に関する予算についてお尋ねします。学校整備の予算が計上されていますが、私を含め町民の方々はどのような中学校ができるのか想像できる人は誰もいないと思います。町民が理解していない状況で、そのような予算の計上の方法がよいのでしょうか。伺います。

町長

小野中学校の整備事業の目的は、耐震対策の観点から早期に安全・安心の確保を図るとともに、教育環境の向上を目指すものです。また、複数年度にわたる大事業でもあります。その観点から、まず当初予算に計上し、議会及び町民の皆さまにお示ししたところです。さらに、国の新年度の安全・安心な学校づくり交付金を活用するため、これも当初予算に計上しました。

今後の基本設計、実施設計段階で考えを示し、議員各位の意見を伺い、よりよい教育

環境の整備を進めたいと考えています。又、関係予算については、実施設計完了後に改めて議会に調整をお願いする予定ですので、早期の安全・安心の確保、教育環境の整備のためご理解をお願いします。

問 教育施設は、建築物の整備だけでは不足となり、チームディングをするにしても、県でどこまで教員配置をするのかは不明です。また、特別支援教育についても、学習障がいを持った子どもを含めて、発達障がいのある子どもたちの出現率というのは、3パーセントから7パーセントといわれており、小野中学校だけでも相当数の生徒があらわれる可能性があります。その際、症状によっては普通教室に配置することになり、教科担任の負担が大きくなると考えられます。そこで教科担任以外の専門の先生が必要になってきますが、その時、国・県はどのような先生を配置してくれるかどうかはやはり不明ですし、町単独で配置するのは際限なく予算が膨らむ可能性もあります。このように様々な問題が想定される中、施設整備の面に重点を置いた予算の

審査に抵抗を感じます。

当初予算では、施設の概要は決まっていると思われるので、これから色々なアイデアが提案されてもこれが足かせになるのではないかと心配しています。その点町長はどのように考えているのか伺います。

町長 予算の積算は一般的な面積及び単価によるものと聞いており、具体的な間取りなどについては今後の実施設計に向けてより詳細な検討が加えられると理解しています。

これは複数年にわたる大事業ですので、一日も早い竣工を目指して当初予算に計上したものです。実施設計完了後に改めて議会に調整をお願いし、細部を検討しながらよりよい学校建設に努めていきます。

問 小野中学校の改築事業は確かに大事業です。だからこそ遺漏のないように一回立ち止まって、ソフト面を見直すべきだと考えます。しかし、ここまで積み上がったきているので再検討するのは難しいと思います。ですが、せめて予算の計上は、議会はもちろぬ町民の方々もどのような学校ができるのか理解してからでも遅くはないと思

います。再度伺いますが、予算の計上の方法はこれでよいのでしょうか。

町長 予算については、予算審査の中で担当課より詳細な説明をします。そこで議員各位の質問、意見をお願いします。

緊急雇用対策について
保健センターの整備について
公園の整備について



石戸 浩 議員

問 緊急雇用対策についてですが、世界規模の経済不況のうねりが日本経済を襲い、我が町においても企業倒産や工場閉鎖が相次いでいます。このような急激な雇用情勢の悪化の下、町が八ローワークや企業を通じて把握している町内の離職者数、民間の求人状況と再就職の状況等、我が町の雇用の実態について伺います。

町内離職者数は、郡山公共職業安定所によりますと、離職者として推計できる求職登録している方の昨年十一月から本年一月までの概数は、パート雇用を除く常用雇用で約百八十名となっており、小野町無料職業紹介所における求職者も二十名近くとなっています。

*1「アイデンティティ」：施設が持つ特徴や理念を簡潔に表したもので、一般の人から「それはそれ」と容易に識別できる施設特有のもの。または、一般の人が特色をとらえ、その施設に対して共通認識を有すること。
*2「ノーマライゼーション」：高齢者や障がい者などを施設に隔離せず、健常者と一緒に関わりながら暮らし、それが正常な社会のあり方であるとする考え。また、それに基づき社会福祉政策。



▲無料職業紹介所を役場内に設置

また、町内の求人者数は、常用雇用が五社十名、パート雇用が三社五名です。

問 福島県をはじめ他自治体では緊急雇用対策を打ち出し、補正予算を組み、あるいは予備費を充当するなどして臨時職員の雇用の創出を図っている例もありますが、我が町のこれまでの対応と、今後の対応について伺います。

町長 これまでの対応としては、町内企業の撤退に伴う離職者への求職説明会の開催や小野町中小企

業の撤退に伴う離職者への求職説明会の開催や小野町中小企

業経営合理化資金保証融資制度による補助金制度の拡充を行っている。また、町内の各企業、各種団体、議会などと合同会議を開催し、情報の交換や企業訪問による情報収集活動を実施しています。

今後は、国の第二次補正予算が成立したことによる経済対策として、地域活性化生活対策臨時交付金事業を利用し、道の整備、老人憩いの家改修、小学校のトイレ改修のほか六事業を、定額給付金事業により二名の臨時職員雇用を補正予算に計上しています。新年度予算には、緊急雇用創出基金事業等により、直接及び委託事業をあわせて離職者を中心に八名の臨時職員雇用を予定しています。又、商工会が発行する商品券のプレミアム部分を補助金として計上しています。



問 保健センターの整備について伺います。

現在、我が町には町民の健康づくりや総合的な保健事業を行うための拠点施設がありません。このため、各種の検診や教室、相談会などが複数の施設を利用して実施され、町民の皆さんは甚だ不便を感じています。保健セン

ターの整備については、平成十二年度からスタートした第三次小野町振興計画の中でもその必要性が述べられています。

行政には、スクラップ・アンド・ビルド^{＊3}の発想と所期の目的を達成するため継続性が必要です。しかし、本年二月六日に議会に示された小野町第四次振興計画の前期五カ年基本計画の草案では、保健センターの整備についての記述がありませんでした。町が目指す「生涯を通じて健康づくり」実践のための拠点施設として保健センターの整備を基本計画に盛り込み、町民の利便性の向上と保健事業の更なる効率化を図るため、早期の建設が望まれます。

当該事業に対する国・県の補助事業の有無とあわせて、これらに対する町長の考えを伺います。



町長 現在、町の健康づくり事業は、母子健康センターや保健福祉センター等で乳幼児から高齢者までそれぞれのライフステージに応じた事業を実施しています。

町民の健康づくりを推進するためには、生活習慣病予

防や介護予防の観点からも、健康診断・健康相談機能、食育教育機能、運動訓練機能等を併せ持った保健福祉施設において総合的に事業を実施することも有効な方法と考えます。

町としては、現在策定中の基本計画に盛り込みながら、今後従来からある施設の活用を含め、保健センターの在り方を検討しつつ、町民の皆さまが利用しやすい健康づくり事業等の運営に努め、元気で活力あるまちづくりに取り組んでいきます。

なお、現在保健センター建設に関する国・県等の補助制度は調査しましたがありませんでした。



問 公園整備について伺います。

小野町第四次振興計画の前期五カ年基本計画の草案では、河川改修にあわせて公園整備を行うとありますが、これは河川改修により生じた余剰スペースを利用して親水公園を整備しようとするものではないかと思われ

ます。町民の皆さん、とりわけ女性の方々が望んでいるのは、町の中心市街地に老若男女を問わず利用できる都市型

公園です。このことは第三次振興計画の中でも、公園の整備が必要であると明記されています。例えば、植栽スペースがあり四季折々の草花を愛でながら散策を楽しんだり、ベンチで噴水を眺めながら談笑する。砂場ではヨチヨチ歩きの子どもがお母さんと砂遊びに興じたり、わんぱく広場では子供達が自由に走り回る。桜の季節には花見をしたり、イベント広場では盆踊りを楽しんだり、朝夕市など旬の直売会や物産展もできるようにする。このような遊びの空間、癒しの空間を町の中心市街地につく

ることに、人が集まり、中心市街地の活性化、にぎわいの創出など相乗効果が生まれると考えます。このことに関して町長の考えを伺います。



町長 公園は、地域憩いの場、児童の遊び場、高齢者の触れ合いの場、そして災害発生時の避難場所として利活用できる場として重要な施設と考えています。現在、中心市街地には、塩釜神社境内内に万景公園、

旧警察署跡地に中央児童公園が整備されています。また、運動公園がありますが、現在の公園をより魅力的に使いやすくするため整備を進めています。

都市型公園の整備では、適地の選定やその用地の確保が最も重要な要素と考えています。今後は既存の公園用地や市街地の空きスペースなどにおいて町民の皆さんが利用しやすい場所の調査を進めるとともに、第四次振興計画にも公園整備を位置づけ検討を進めます。

^{＊3} スクラップ・アンド・ビルド：新しい制度や組織を作るには、同等の古い制度や組織を廃止することを原則とする考え方。



▲運動公園

町長の政治姿勢について



吉田 鐵雄 議員

問 町長は二期目に向か
って意欲を持ってい
ると推察しています。町長二
期目に挑戦するに当たり、ど
のような抱負を持っていて
いるのか伺います。

町長 私が町民の皆さま
から引き続き支持
をいただき、再度町政を託さ
れた場合、私の政治信条であ
ります公正、公平、誠実、信頼、
実行を引き続き堅持し、常に
町民の目線に立った町政運
営を心がけて参ります。



▲本会議での答弁の様子

そのためには、町民の皆さ
ま、各種団体等の懇談会や会
合においても、今、何を町政
に求めているのか、何を期待
しているのか的確に把握す
るとともに、職員一丸となつ
て、町民の皆さまから住みた
い町、住んで良かったと言わ
れるまちづくりを目指した
いと思ひます。

国内の景気が更に後退す
ることが予測され、地方財政
は更に厳しい状況にあるこ
とから、事業の推進にあたり
ましては、第四次小野町振興
計画の実施計画に掲げた各
分野について、年度ごとに事
業を評価し、計画の目的達成
のため頑張っていく所存です。
特に具体的施策では、小野中
学校改築事業、給食センター
の整備事業、認定子ども園、
ユビキタス社会*4へ向
けての情報化推進事業、多目
的利用が可能な町内巡回バ
スの実現など取り組むべき
課題が数多くあります。

問 本日に町民の目線に
立った分かなりやすい
町政運営を行っていただき
たいと考えます。

さて、プレミアム付きの商
品券ですが、離職者も多いと

のことですので消費を拡大
するために、プレミアムを
一割ではなく二割又は三割
にする考えがあるか伺います。

町長 町としては、商工会
から一割のプレミ
アム付き商品券総額千百万
円分を発行したい旨の意向
を受け、プレミアム部分を町
で負担する予算を今般計上
したところですが、議会、商
工会、町民の方々の意見をい
だだき、その中で今後弾力的
に考えたいと思っています。

問 町長の所信表明や本
日の答弁を聞くと議
会という名前が出て来てい
ません。私はこれまで四代
の町長と町政について議論し
てきましたが、前の三代まで
は、議会の意見をいただき協
力を願うという姿勢があり
ました。町長は議会に対して
どのような認識を持ってい
るのか伺います。

町長 私は常々議会議員
の指導あるいは意
見を拝聴し、執行部、議会は
両輪のごとくまちづくりに
推進すべきと考えており、議
会の重要性について発言を
しているつもりです。言葉足

らずの部分がありましたら
ご容赦をいただきたいと思
います。

問 私は、議会での答弁は
絶対的な重みがあり、
百パーセント信頼できると
認識しています。町長におい
ては、議会での答弁をどのよ
うに認識しているか伺います。



遠藤 英信 議員

第四次小野町振興計画について

ることを将来像としています。
議員の皆さま、町民の皆さま
の郷土愛と英知と勇気を結
集して、地域と暮らして誇り
が持てる、住んでよかった、
住みたいまちづくりを目指
すものと考えています。

問 第四次小野町振興計画・
基本計画の中の小野
町の将来像ですが、きらめく
人と自然 あったか小野町
とはどのような将来のこと
を考えているのか伺います。

町長 この計画では、小
野町が町の大きな財産であ
る笑顔と活気あふれる人々、
豊かな自然環境が、自ら光り
輝き、人々がともに助け合い、
優しさあふれる温かい町と
誇れる町・自慢できる町とな

町長 発言の重さ、言葉の
責任、これはどのよ
うな立場の人、どのような場
面においても大変重要なも
のと考えており、特に議会答
弁は、さらに重いものと考え
ています。

*4 ユビキタス社会…生活環境のあら
ゆる場所に情報通信環境が埋め込まれ
利用者がそれを意識せず利用できる技
術が実現されている社会のこと。

問 第三次小野町振興計
画の理想像では、未来
さわやか…自然と共生する
あぶくま拠点都市とし、さ
らには、まちづくりの基本目
標で「定住と交流と快適環境
のまちづくり」と明言しては
つきりと町民との約束をし
ていたのですが、第四
次小野町振興計画では、まち
づくりの基本目標「すこやか」
「はぐくみ」「げんき」「さわや
か」「あんしん」となっており、
大変ユニークですが、メルヘ
ン調の表現であり、インパク

トに欠けるのではないかと
思います。より町民に分かり
やすい、具体的な施策に連動
する基本目標を掲げた方が
よかったかと思えますので
伺います。

町長

この基本目標は、
町の将来像、きら
めく人と自然 あつたか小野
町」に進んでいくための目標
を「すこやか」「はぐくみ」「げ
んき」「さわやか」「あんしん」
の五本とし、それぞれをまち
づくりのために取り組むべき
分野の目標として設定をし
ました。これら一つ一つにつ
いて、それぞれの分野ごとにレ
ベルアップを図り、全体的に
まちづくりが向上していくよ
うな計画の構成としています。

細部の実施計画、基本計画
とも現在策定中ですが、この
五本の柱の中に、例えば「はぐ
くみ」を例に挙げますと、小野
中学校改築建設事業が出てき
たり、ユビキタス社会実現の
ために情報化を推進する事業
が出てきたりします。今後も
策定していく中でお示しして
いきたいと考えています。

問

第三次小野町振興計
画では「理想像」とい
う表現だったのが、第四次小
野町振興計画では「将来像」

と表現を変えたのであれば、
策定にあたって現実味のある
もつと解りやすいまちづく
りの基本目標や新規重点施
策を提起されてよいのでは
なかったのではなかったか
と思います。

先日開催された第四次小
野町振興計画、基本計画、実
施計画説明会でも質問しま
したが、「地域医療の充実」「行
政改革」について、平成二
十一年度重点施策では明記
されなかったことについては、
どう理解すればよいのか伺
います。

町長

第四次小野町振興
計画の基本計画、
実施計画については、現在策
定を進めているところで、地
域医療の充実や行政改革に
ついては、も分かりやすくこれら
計画に盛り込みたいと考えて
います。



▲駅前の特定公共賃貸住宅

問

第四次振興計画を補
完する意味で、誰もが
将来像を言えるように町民
からキャッチフレーズを募
集するなどすれば、行政と町
民の一体感が醸成されるの
ではないかと考えます。これ
に関して町長の考えを伺い
ます。

町長

第四次小野町振興
計画における町の
将来像のフレーズについては、
昨年十一月に町のホームペ
ージを通じてパブリックコメ
ントを実施したほか、公募に
よるワーキンググループに
も意見をいただき基本構想
の根幹として平成二十年十
二月に議決頂いたところで
す。今後、振興計画の施策の実
施過程の中で、町民により親
しまれるよう努めていきます。

問

小野町の課題の一つ
である定住、人口増と
少子化、出生率の向上をめざ
す施策についてですが、小野
町の人口は、厚生省推計によ
ると、二〇二五年には九千八
百七十人に、二〇三五年には
八千七百四十二人となって
います。このような人口が減
少する状況から、今、速やか
な対応が求められているの
ではないでしょうか。

地域整備課長

住宅の利
用状況で
すが、現在の条例上の管理戸
数は、公営住宅が二百九十戸、
特定公共賃貸住宅が二十一戸、
町有住宅が十一戸で、合計三
百二十三戸です。このうち、
実際入居している住宅は二
百九十七戸で、若年層といわ
れる三十五歳未満の方の入
居は全体の十三・三パーセ
ント・四十三戸です。

町長

私も議員ご発言の
ように、若い方々が
結婚をして子育てが安心し
て行えるように住宅整備を
することは、これからの定住
施策として非常に重要と考
えています。

新築住宅の建設については、
予算の確保も課題となるため、
地域のニーズや住宅需要の
動向を適切に見極めた上で
対応します。当面、特定公共
賃貸住宅について、家賃の見
直しや設備等の更新を行い、
若い方々が安心して子育て
できるような居住空間を提
供することとします。これ以
外の住宅についても適正な
維持管理と修繕を行い、安心
して居住できる住環境を整
備することにより、定住の促
進を図っていきます。

問

笑顔とがんばり長寿
者敬愛条例が改正され、
百歳到達者への慶祝金は百
万円から経過措置を経て、今
年度からは十万円となつて
いますが、長寿者の方々の改
定時における子どもに対す
る思いを尊重する意味から
も、「仮称」(こども祝い金)等
を創設するのはいかがでし
ょうか。

例えば、出生率が、平成十
九年は一・三四であることか
ら、子ども三人百万円の子
育て祝い金の施策を研究、
検討されてはどうか伺います。

町長

子育て支援につ
いては、子育て祝い金など様々
な意見があると思います。町
においては、子育て支援を最

置づけ、その観点から子供を産み育てる環境整備が重要かつ優先されると考え、子どもたちの健全な育成及び子育てしやすいまちづくりを目指し、保育料の軽減措置等の保育対策、妊婦健診助成回数、小学生の入院費助成制度の導入等の経済的支援、子育て支援センターの設置、放課

後児童の健全育成のための放課後子どもプランの実施及び地域の子育て交流やボランティア育成事業等の様々な施策により子育て支援を推進してきました。
今後色々な意見を聞きながら、最優先すべき課題として子育て支援策を進めていきます。

●戦後最大とも言われる

大不況対応について



国分 喜正 議員

問 昨年秋に始まった米国発の金融危機が世界を巻き込み、大不況がわずか数ヶ月の間に日本はおろか小野町にまで影響を与えております。この様に会社もそこに働く社員も先の見えない不況にあえいでおりますが、安全・安心のまちづくりを目指している町長として昨今の不況をどのよう認識しているか伺います。

町長

昨年秋に始まりました世界同時不況は瞬く間に日本に上陸しました。私も今回の大不況は戦後最大の経済危機であると認識しています。国内では自動車産業や電子機器等産業でその影響は顕著で、本町においてもこの不況が製造業を中心とした町内企業の経営を直撃し、憂慮すべき事態であると考えています。

町長

昨年秋に始まりました世界及び日本経済後退により、愛知県豊田市では法人税九十六パーセント減の報道がありました。我が町では数百人の雇用が失われ、毎月数千万円の収入の道が閉ざされるわけです。

製造業ばかりでなく小売業も大きな影響を受けていると推測します。
そこで新年度予算の税収落ち込みはどのくらいになるか、また、予算策定にどのように影響するか伺います。

町長

最近発表された各種統計データによっても、景気の悪化が急激に進んでいるのは明らかです。そのようなことから、平成二十一年度予算において個人町民税、法人町民税の収入見込みを減額しました。今後の経済状況の変化による税

の影響については補正予算による対応も考えています。



▲小野新町駅前

税務課長

平成二十一年度当初予算における税収は、昨年度と比較し、約四千八百万円減額になると見込んでいます。

町長

ますます悪くなる経済に対する特効薬は、購買量の増加、つまり消費増

加策につぎると思います。皆の財布の紐が緩むような施策を打ち出せば、消費が拡大し、産業が活性化し、ひいては雇用を生み出すことになると思います。

そこで、行政では地域活性化・生活対策臨時交付金事業や商工会との連携した商品券構想、あるいは定額給付金も含めたいろいろな施策を具体化するわけですが、主なものについて説明願います。

町長

今回提案した平成二十一年度予算の補正において、地域活性化生活対策臨時交付金事業を実施します。内容は、老人福祉施設改修工事、道路整備工事、公共施設等トイレ改修工事や水道事業における石綿セメント管更新設計事業です。

平成二十一年度事業として、福島県ふるさと雇用再生特別基金事業費補助金により、地域資源を活かした新たな商品の開発事業を、福島県緊急雇用創出基金事業補助金により、臨時職員の雇用と町有財産整備事業を実施する予定です。

さらに、定額給付金給付事業に合わせ、町内の商工業活性化を図るため、商工会が特別商品券の発行を予定して

いますが、そのプレミアム部分を補助金として交付する予定です。

町長

日を追うごとに景気が悪くなり、今後ますます景気の悪化が予測される中、米国で成功の事例があるニューディール政策*5)の小野町版、累進課税、ワークシェアリング*6)などを実施する考えがあるが、自立したまちづくりを目指す町長としての考えを伺います。

町長

大手から中小企業まで、雇用維持のため血を流すような努力でワークシェアリングを実施していることは承知しています。役場でのワークシェアリング実施は業務の性質上、困難と考えます。ただ、民間企業の必死の努力とその姿勢を常に意識し、職員においても、この困難な状況にいかに取り組むか考え、全力を尽くす考えです。

*5 ニューディール政策…一九三三年ニューヨークの株価暴落により引き起こされた世界大恐慌による不況を巻き返したとされるアメリカの経済政策。大規模な公共事業や大量の雇用確保政策などが大胆に実施された。

*6 ワークシェアリング…一つの仕事を多数で分け合うという考え方や政策のこと。雇用人数はそのまま、労働時間を減らして賃金をカットすることによって、リストラを回避するための手段にもなる。

- 小中一貫教育について
- 小学校施設の整備について
- 幼児教育施設の整備について
- 福祉施設の整備について
- 地域医療の連携について



水野 正広 議員

問 我が町の小・中一貫教育について伺います。

現在、全国各地において小中一貫教育についてセミナーなどが開催されています。福島県においても一貫教育を実施している学校が開校されており、今後、小・中一貫教育実施の流れが強くなっていくものと考えます。これらは我が町の教育を考えると、避けて通れない検討課題と認識しています。町長の考えを伺います。

町長 近年、全国各地にお

貫教育へ向けた検討や準備の取り組みがされていることは承知しています。小・中一貫教育の考え方には連携型や一体型等様々な形態がありますが、最も重要なのは小学校と中学校が連携することだと考えて

えます。中学校との連携、共同利用可能な施設、例えば、給食施設、図書室など早急に検討を進めるべきと考えますが、今後の進め方について町長の考えを伺います。

町長 小野町教育環境整備基本方針では、今後小学校統合に向けた新しい施設の整備を行うこととして

います。児童生徒の交流、教師間の交流や授業研究、クラブ活動を通しての指導等、小・中学校間の交流事業や活動を通して、学習面やスポーツ活動において向上心や意欲が高まることが期待できるからです。また、小学校から中学校へ進学する際の学習面での不安や人間関係などの心理的負担の軽減、小学校の学級担任制から中学校の教科担任制への円滑な移行などに効果が期待できると考えています。教育は、町にとって大変重要と考えておりますので、小中一貫教育につながる様々な連携活動強化に取り組んでいきます。

問 小学校施設整備について伺います。

教育委員会の方針として、八年後には小学校の統合を実施したいとのことと認識していますが、建設場所を含めた具体的な計画づくりや計画づくりに伴う保護者、地域住民などとの合意形成が必要と考

効果的効率的な施設整備に努めていきます。

問 幼児教育施設の整備について伺います。

今、町において第四次振興計画が一年前倒しして策定されています。その振興計画の中にも示されている、認定こども園について、昨年、厚生産業建設常任委員会において行政視察を実施し先進事例の研究をしてきたところです。多様化する保育ニーズへの対応や、就学前教育の充実などの観点から、子供を産み育てやすい環境の整備が急務であると考えます。特に0歳児保育は、若いお母さん、お父さんの切実なる思いがあると考えます。今後の認定こども園の整備の進め方について町長の考えを伺います。

町長 我が町の幼児教育施設は、保育の提供

を目的とする保育園をはじめ、幼稚園や児童園があり、設置以来それぞれの役割を果たしてきています。しかし、社会の変化や保育ニーズの多様化への対応に加えて就学前教育の充実の観点から、これまで取り組んできた数々の幼・保一元化に向けた事業の成果も踏まえ、新たな子育て支援施設として、認定こども園の整備

を行い、子育て支援策の向上を図りたいと考えています。施設整備については、小野町幼児教育施設整備基本構想の実現、そして0歳児保育も含め、子育て支援のためどのような施設が望まれているかの観点から、改めて施設の規模や機能、運営面などについて早急に具体的検討を行いながら整備を進めたいと考えています。

また、基本構想段階で複数の案を示している建設候補地についても、新たな候補地の可能性も含め、内部で検討と議論を重ねるとともに、その成果を町民の皆さまに示し、理解を得ながら新しい総合施設の整備を進めたいと考えています。

問 社会福祉行政について伺います。

我が町には町設置温浴施設として、老人憩いの家、たかむら荘があります。この施設は老朽化も著しく利用客も少ないと聞いています。今般予算化し、改修工事を実施することですが、この際、老人だけが利用する、老人憩いの家ではなく、オープン時間を延長するなどして町民全員が利用したくなく、町民憩いの家を目指してはどうかと考えます。

運営についてですが、現在シルバー人材センターへ委託していると聞いておりますが緑とのふれあいの森公園で実施されている指定管理者制度を導入し、管理運営を行えば、時間延長などにも対応でき、利便性が向上するのではと考えます。町長の考えを伺います。

町長 今定例会に浴槽やトイレのほか内装などの全面改修の予算を計上しました。

今後は、子どもから大人まで多くの方に愛され利用される施設となるよう、施設の名称変更なども検討したいと考えています。さらに、お尋ねの夜間の利用なども含め、町民の皆さまが利用しやすいよう、指定管理者制度の導入なども視野に入れ、施設の活用ができるよう十分検討していきます。

問 医療行政について伺います。

公立小野町地方総合病院においては、職員一同一丸となつて改革に取り組み、単年度ですが黒字決算となつてお



▲公立小野町地方総合病院

ります。しかし、ベッド数の関係で収入が減少し病院事業も大変苦慮しているとも思います。しかし、住民にとって無くてはならない施設と考えられています。

地域住民の一人でも多くが安心して利用できるよう、さらなる改革を進めているところだと思いますが、公立小野町地方総合病院と町内医療機関の連携・協力についての取り組みについて現状と町長の考えを伺います。

町長 地域医療の安定、充実に、公立小野町地方総合病院を中核として町内医療機関との連携、協力は欠かせないものと考えています。公立小野町地方総合病院と町内の医療機関は現在におきましても患者の相互紹介、各種検査業務での連携協力を行っています。この連携については医療機関の先生方からもいろいろな提案提言をいただいております、公立病院とも同じように連携を深めるため検討を重ねていると聞いています。医療体制のさらなる充実のために、町としても公立病院と地域の医療機関の連携がさらに深まるよう努めたいと考えています。

●専決事項

平成二十一年度小野町一般会計補正予算(第四号)の専決処分の承認を求めることについて

平成二十一年度第一回定例会後に確定した地方消費税交付金、自動車取得税交付金及び特別交付税の増額及び老人保健特別会計において老人保健医療国庫負担金に歳入不足が生じたため一般会計から同特別会計への繰出金の増額について緊急に調整を行う必要があったため三月三十一日に専決処分したものです。
補正予算の内容については、

第1回臨時会

4月28日

平成21年第1回臨時会は、4月28日に開かれました。会議では平成20年度補正予算や条例の一部改正の専決処分の承認案件、町長等特別職の給与削減条例案件、その他人事案件など9議案を原案のとおり決定しました。

医療制度改革により、平成二十一年度国・県負担金補助金等の算定について大幅な改正が行われたため、当初の収入見込額が大幅に減額となり、国民健康保険給付費支払準備基金より同額繰入を年度内に行う必要があることから、三月三十一日に専決処分したものです。

補正予算の内容については歳入において国・県支出金や共同事業交付金五千四百十五万六千円を減額補正し、歳出で保険給付費一千四百七十二万九千円、共同事業拠出金二千六百七十五万五千円を含む五千四百十五万六千円の減額補正を行ったものです。

専決処分後の国民健康保険特別会計歳入歳出予算の総額は、十二億六千五百七十三万一千円となるものです。

平成二十一年度小野町老人保健特別会計補正予算(第三号)の専決処分の承認を求めることについて

平成二十一年度第一回定例会終了後、国庫負担金が見込み額を下回って確定したため、歳入予算において不足が生じました。このため、一般会計から二十一万円を年度内

に繰り入れる必要が生じたため、三月三十一日に専決処分したものです。

なお、国庫負担金の不足する額につきましては、平成二十一年度において清算交付されるものです。

補正予算の内容については、歳入において、国庫負担金や医療交付金等において二百四十七万一千円を減額、歳出においても、医療給付費や審査支払手数料など同額減額し、専決処分後の小野町老人保健特別会計歳入歳出予算の総額は、一億四千三百一萬四千円となるものです。

小野町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

地方税法の一部を改正する法律等が平成二十一年三月三十一日公布、四月一日から施行されたことに伴い、関連する町条例の一部を改正する必要が生じたため、三月三十一日専決処分したものです。

改正内容の概要は、個人住民税における住宅ローン特別控除の創設、固定資産税の負担調整措置の継続及び上場株式等の譲渡益に係る軽

減税率の適用期間の延長であり、四月一日から施行するものです。

小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて

健康保険法等の一部を改正する法律及び地方税法等の一部を改正する法律が、平成二十一年三月三十一日公布、四月一日から施行されたことに伴い、関連する町条例の一部を改正する必要が生じたため、三月三十一日専決処分したものです。

改正内容は、国民健康保険税について、介護給付費の動向を勘案し、介護納付金賦課限度額を九万円から十万円に引き上げるなど関係条文を整理するものです。

● 条例

町長等の給与の特例に関する条例について

町長、副町長及び教育長の給料について、景気の低迷による厳しい社会経済や町の財政状況を勘案し、また特別職が自ら行財政改革の先導を果たすため、引き続き減額を行うものです。

減額は、町長については給

料月額三十パーセント、副町長及び教育長についてはそれぞれ十パーセント減額するもので、本年五月一日から平成二十二年三月三十一日まで実施する内容となっています。

● 人事案件

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

急逝した故伊藤義勝氏の後任として、佐藤信之氏(仲町)を候補者として意見を求められたもので、満場一致で佐藤氏が人権擁護委員候補者として適任と決定したものです。



佐藤信之氏

● その他

財産の無償譲渡について

「笑顔とがんばり小野町定住・二地域居住推進事業実施要領」に定める町有林おすそわけ事業の申請があったため、町有林(杉)十立方メートルを定住予定者に無償譲渡するものです。

この事業による無償譲渡は、今回の申請で三件目となります。

単位:千円

平成20年度3月専決処分補正予算

区分	補正額	予算総額	予算の主な内容
一般会計	68,392	4,482,232	歳入において、地方消費税交付金や特別交付税等の確定により増額し、歳出において主に基金費を増額するものです。
特別会計			
国民健康保険	54,156	1,265,731	医療制度改革により、平成20年度国・県負担金・補助金等の算定方法について、大幅な改正が行われたことから、歳入において国・県支出金や共同事業交付金等を減額し、歳出において保険給付費、共同事業拠出金等の減額を行うものです。
老人保健	2,471	143,014	国庫負担金が確定したことから、歳入において国庫負担金や医療交付金等を減額し、歳出において医療給付費等を減額するものです。

単位:千円

平成21年度4月補正予算

区分	補正額	予算総額	予算の主な内容
一般会計	0	3,863,000	商工会が発行する特別商品券のプレミアムを20%とすることから、財源として予備費を充当するものです。*歳出総額に変更はありません。

議会日誌

2月 February

- 5日 小野町議会地域医療調査特別委員会行政調査
- 郡山広域消防組合総合計画第二次実施計画説明会
- 6日 月例全員協議会
- 第四次小野町振興計画基本計画等の説明会
- 12日 議会広報編集委員会
- 郡山地方広域消防組合議会2月定例会
- 13日 平成21年郡山地方広域市町村圏組合議会2月定例会
- 田村広域行政組合議会2月定例会
- 15日 第23回B&G杯ビーチバレーボール行政区親善交歓会
- 平成20年度田村三方部親善剣道大会
- 16日 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 企業対策特別委員会
- 19日 第1回定例会(27日まで)
- 20日 東邦あぶくま睦会・新春講演会
- 22日 安瀬全孝を囲む新春の集い
- 24日 岩城光英さんを励ます会
- 25日 福島県町村議会議長会第2回定期総会
- 福島県市町村総合事務組合定例会

3月 March

- 1日 公明党福島県本部新春政経セミナー
- 4日 都市計画審議会
- 6日 第23回B&G杯室内ゲートボール大会
- 例月出納検査
- 8日 富塚ゆうけい連合後援会の事務所開き
- 9日 厚生産業建設常任委員会葉たばこ播種視察
- 月例全員協議会
- 企業対策特別委員会



9日 厚生産業建設常任委員会葉たばこ播種視察

4月 April

- 1日 辞令交付式
- 郡司ナツ子百歳賀寿贈呈式
- 4日 保育園入園式
- 5日 げんば光一郎国政報告会
- グラウンドゴルフ協会通常総会
- 6日 町内小・中学校入学式
- 7日 浮金つじ児童園入園式
- 8日 月例全員協議会
- 9日 小野わかば幼稚園入園式
- 12日 小野高等学校入学式
- 13日 第24回町長ゲートボール大会
- 行政区長会
- 18日 町内中学校卒業式
- 「交通安全優良団体・優良安全運転管理者協会」合同受賞披露会
- 19日 小野わかば幼稚園卒園式
- 浮金つじ児童園卒園式
- 22日 JAたむら女性部小野総支部第3回通常総会
- 23日 町内小学校卒業式
- 25日 小野町交通対策協議会
- 小野町認定農業者会総会
- 26日 公立小野町地方総合病院組合議会定例会
- 27日 小野町シルバー人材センター第2回定期総会
- 28日 保育園卒園式
- 29日 小野町連合婦人会定期総会
- 第33回小野町スポーツ民謡協会総会



4月16日 小野警察署強化要望活動(福島県庁)

- 18日 矢吹西吉氏百歳賀寿贈呈式
- 20日 日赤奉仕団すみれ会総会
- 老人クラブ連合会通常総会
- 小野町体育協会総会
- 23日 田村地方町村議会議長会
- 田村地方市町議会議長会
- 25日 浮金小学校運動会
- 26日 消防団春季検閲
- 桜まつりながし踊り
- 27日 民生委員会協議会総会
- 28日 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 第1回臨時会
- 29日 納税貯蓄組合総会
- 30日 小野新町小学校運動会
- 身体障害者福祉会総会

- 14日 小野町教育研究会総会
- 15日 小野町観光協会総会
- 16日 小野警察署強化要望活動(福島県庁)
- 小野町商工会青年部通常総会



4月2日 小野夢太鼓の演奏

●あとうがき

経済低迷も底を打ったと発表がありました。が、まだまだ不安の続く毎日です。そのような状況ですが、町民皆さまの安心・安全を目指して議会は、一丸となり、ますます努力して参ります。

また、読みやすく親しみやすい議会だよりを目指して色々な試みをして参りますので、今後もご愛読くださいますようお願いいたします。

編集委員 水野正廣



この印刷物は、FSCの基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。